

季節で見る荒船風六

春

風穴の積んである石の内部から氷が作られ、持続的な冷風が流れます。



夏

風穴内部から出た冷風は、冷えた外気との接触で霧状に可視できます。



秋

自然と一体となり、自然に抱かれた歴史
を感じることができます。



冬

冬が終える季節。気温の低下とともに、
風穴内部の岩塊を冷やします。



◀ 荒船風穴を
造った人
庭屋 静太郎

息子の千尋が荒船山で見つけた冷風の吹き出し場所を、蚕種の貯蔵庫として利用することを思いつきました。明治38年から大正3年にかけて、国最大の蚕種貯蔵施設「荒船風穴」を経営しました。

これにより、年に一度しかできなかった養蚕が、複数回可能になりました。



昔の荒船風穴▶

提 修 下 仁 德 町



荒船風穴について

自然の冷蔵庫
荒船風穴は、蚕を貯蔵した冷蔵庫です。長野県の冷風が荒船風穴に渡って、色々な季節でも寒さが体感できる。温度は、0～4度なので、一年中0～4度の温度が体験できます。

感想

実際に冷風を体験しました。とても涼しくて、気持ちよかったです。



2号風穴

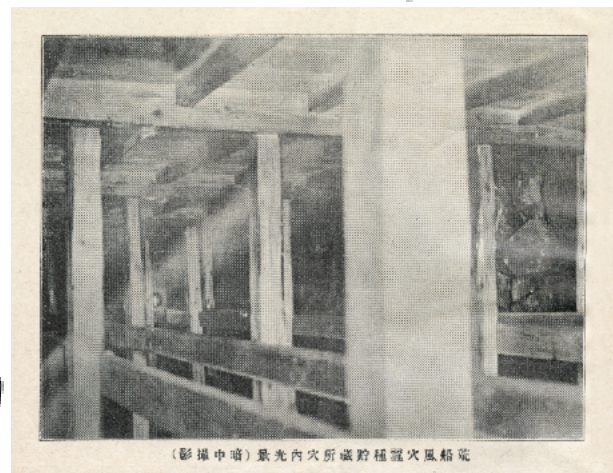


1号風穴



提供：下仁田町

貯蔵している様子



1号風穴貯蔵庫

蚕の貯蔵

長野県から寒い風が吹いて蚕の貯蔵ができました。

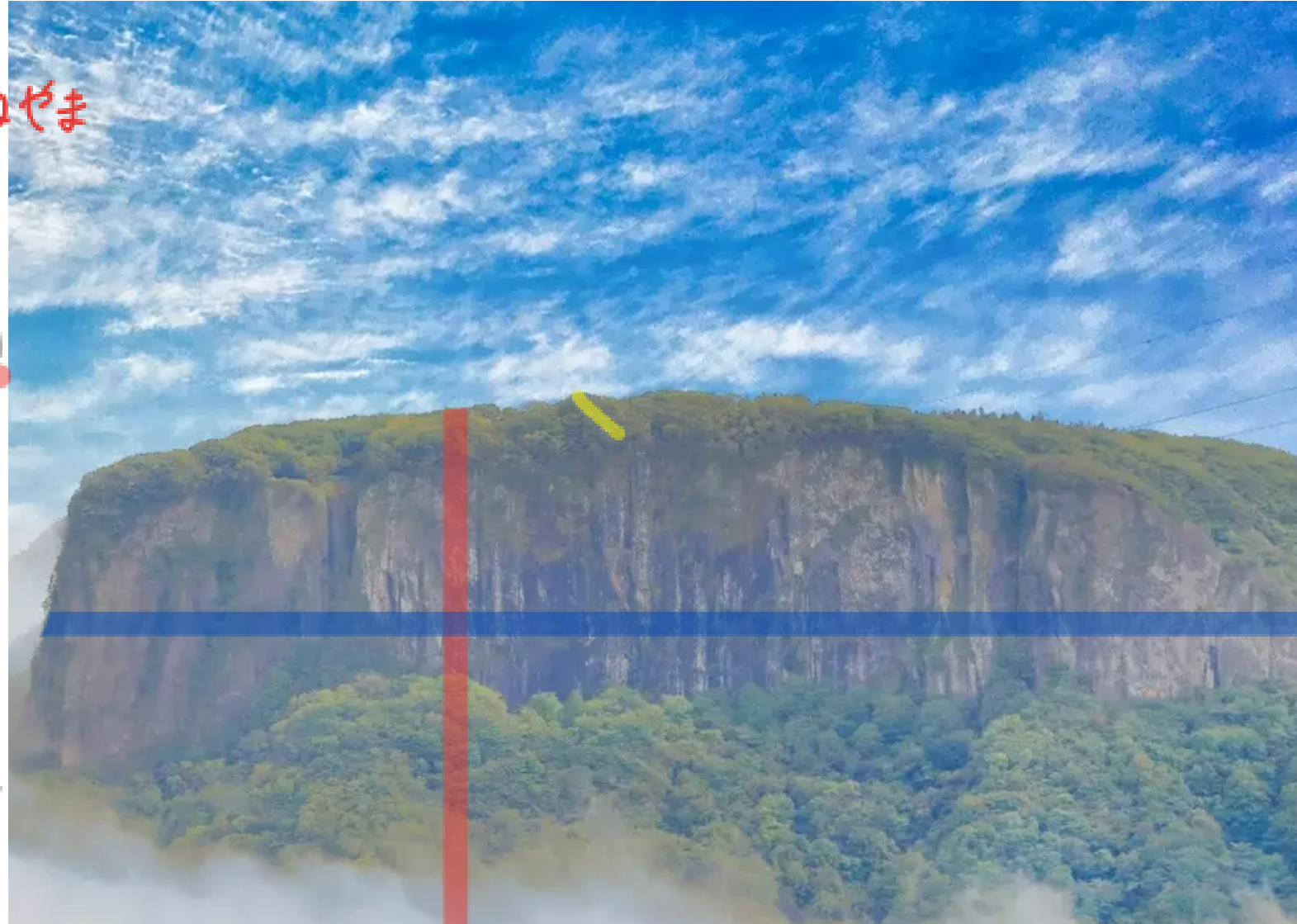
荒船山

あらぶねやま

標高 **1423m**

長さ **2km**

巾幅 **約400m**



荒船風穴のルート

